

2021
復活祭

「あなたは 主を愛するか」

ヨハネ福音書18章,21章 ペテロの否認と和解

今日のアウトライン

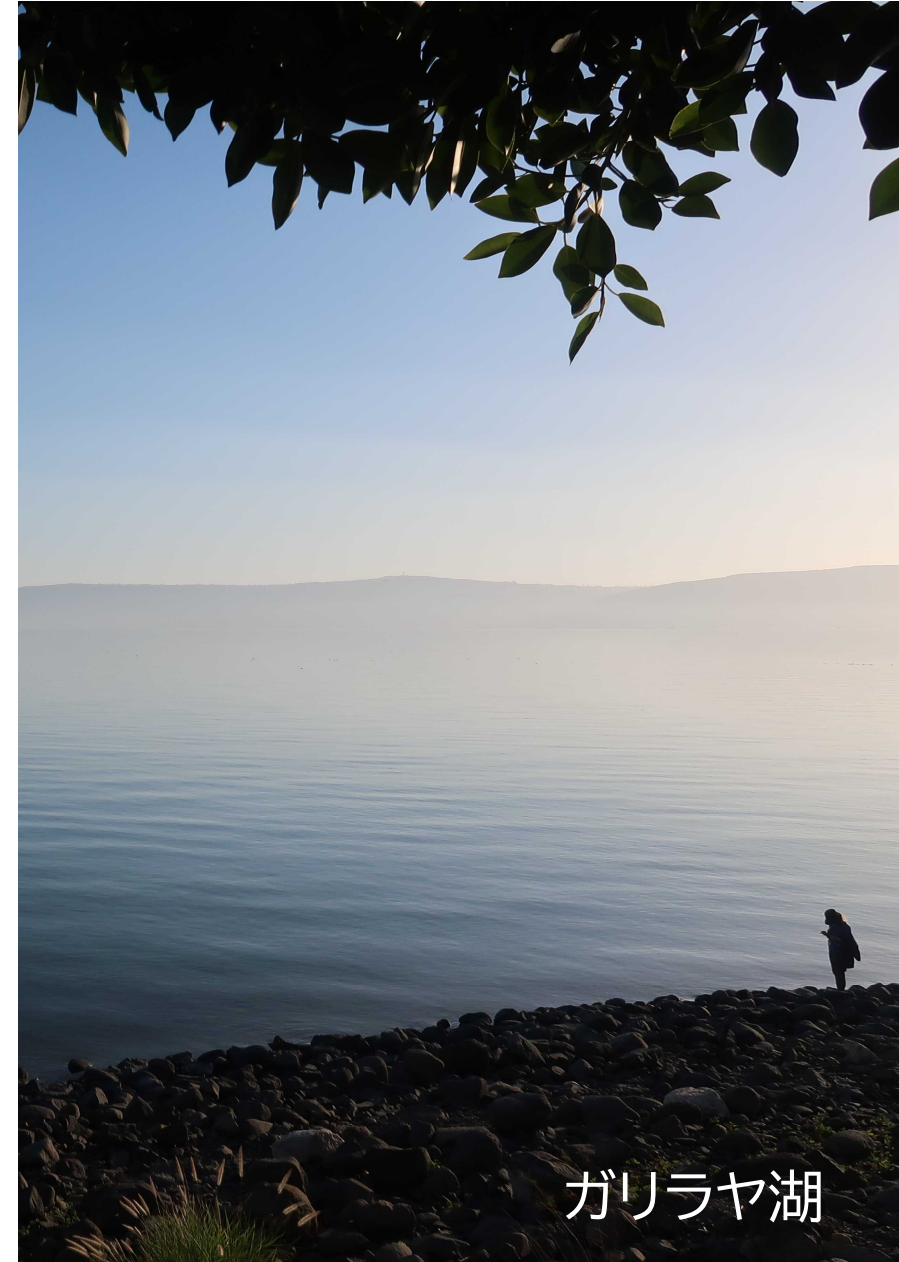
I. ペテロの否認

II. イエスの十字架・葬り・復活

III. ガリラヤ湖畔の和解の食卓

IV. まとめと適用

主を選び、選びつつ歩もう
選ばれた者の特権として



ガリラヤ湖



I. ペテロの否認

ヨハネ福音書18章12～27節

イエスが入れられていた官邸の獄

ユダヤ議会は、メシアを拒絶し、
イエスの命を狙っていた。

過越祭にエルサレムに上ったイエスは、
敵の論戦を退け、罪なき証拠を示した。

最後の晩、ゲツセマネの園で
命がけの祈りをささげたイエスは、
ユダの裏切りによって
ついに捕らえられたのだった。



エルサレム神殿

オリーブ山

鶏鳴教会(カヤパ官邸)

ベン・ヒノム(ゲヘナ)



【予告されていたペテロの裏切り】 マタイ26:31～

そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜わたしにつまずきます。…しかしわたしは、よみがえった後、あなたがたより先に**ガリラヤ**へ行きます。」

すると、ペテロがイエスに答えた。「たとえ皆があなたにつまずいても、私は決してつまずきません。」

イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今夜、鶏が鳴く前に三度わたしを知らないと言います。」

■ 過越の食事の場で、イエスはすでに、ガリラヤでの再会とペテロの否認を明確に告げられていた。

■ ペテロは、他人まで引き合いに出して、強く否定した。



【大祭司の官邸で】 ヨハネ18:12~16

- イエスは、大祭司の官邸へ連行された。
- 急遽ユダヤ議会が招集、違法な裁判が開始。
- ペテロは、つてのあるヨハネに手引きされて、官邸に潜り込んだ。

18:16 ペテロは外で門のところに立っていた。それで、大祭司の知り合いだったもう一人の弟子が出て来て、門番の女に話し、ペテロを中に入れた。



【最初の否認】 ヨハネ18:17～24

すると、門番をしていた召使いの女がペテロに、「あなたも、あの人の弟子ではないでしょうね」と言った。ペテロは「違う」と言った。

18:18 しもべたちや下役たちは、寒かったので炭火を起こし、立って暖まっていた。ペテロも彼らと一緒に立って暖まっていた。

- 重要な証人のユダは失踪しており、官邸では、大混乱の中、イエスの尋問が行われていた。
- イエスは、縛られ、平手打ちされ、陵辱された。



【二度目の否認】 ヨハネ18:25

さて、シモン・ペテロは立ったまま暖まっていた。すると、人々は彼に「あなたもあの人の**弟子**ではないだろうね」と言った。ペテロは否定して、「**弟子ではない**」と言った。

大祭司のしもべの一人で、ペテロに耳を切り落とされた人の親類が言った。「あなたが園で**あの人と一緒にいるのを見たと思うが。**」

ペテロは**再び否定した**。すると、すぐに鶏が鳴いた。

■ヨハネの強調 ➡ **イエスとの関係性の否定**

■ペテロは自ら、主イエスとの絆を**断絶**した。

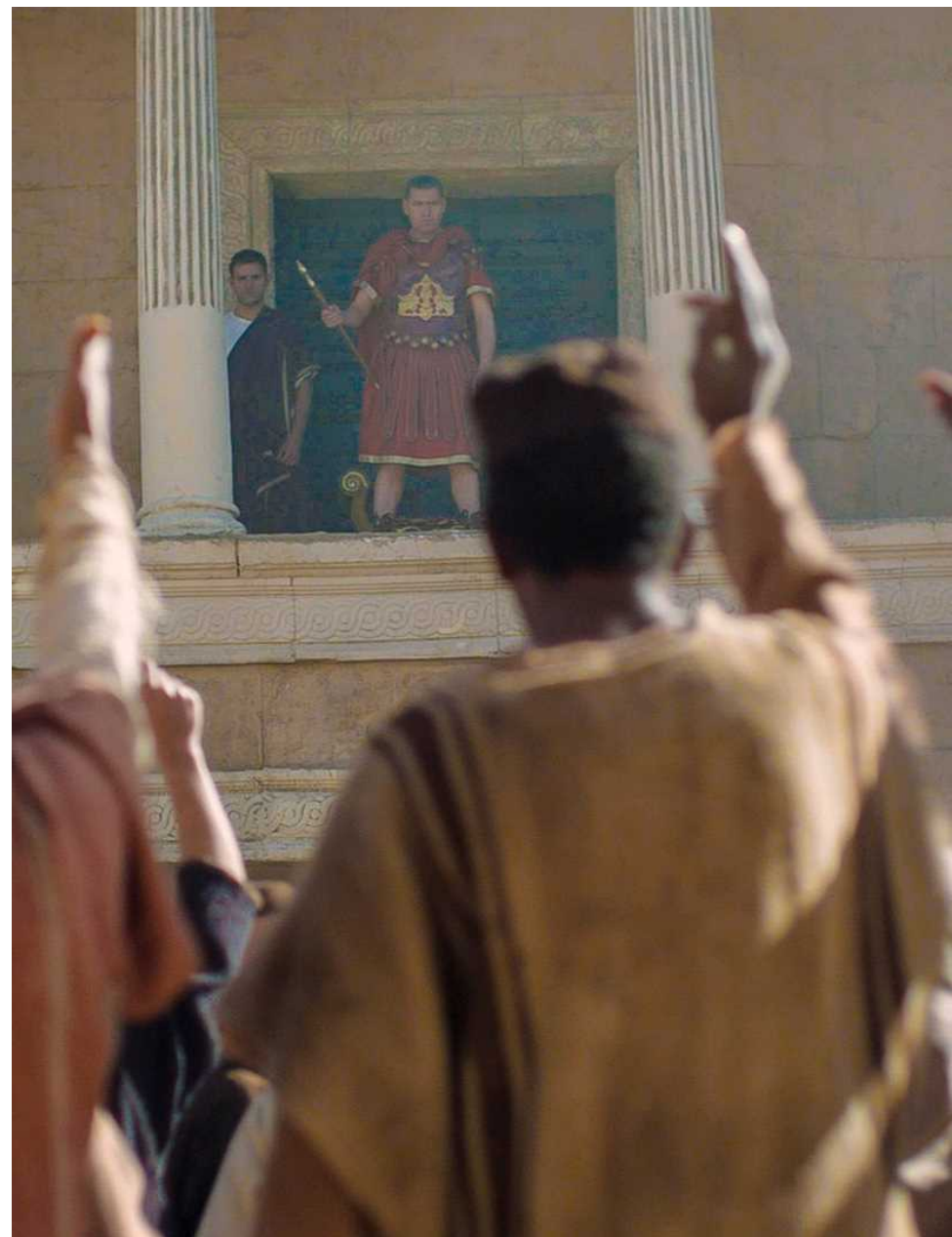




Ⅱ. イエスの十字架・葬り・復活

【ローマによる政治裁判】

- 死刑執行権を剥奪されていたユダヤ議会は、イエスの身柄をローマの地方総督ピラトに引き渡した。
- 証拠もなく、困惑するピラト。しかし、祭司長たちにたきつけられた群衆は、「十字架につけろ」と圧力をかけた。
- 正義よりも保身を選んだピラトは、イエスの十字架刑を宣告した。



【十字架上の叫び】 ルカ23:34他

■ 人々の嘲笑の中、イエスは、市中を引き回され、十字架につけられた。

■ 十字架上で、主イエスは叫ばれた。

「父よ。彼らをお赦してください。
彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。ルカ 23:34 」

■ 隣で十字架にかけられていた囚人は、イエスをメシアと信じて救われた。



【全地を覆った暗闇の中で】 マルコ15:33

■ 午後三時、イエスは大声で叫んだ。

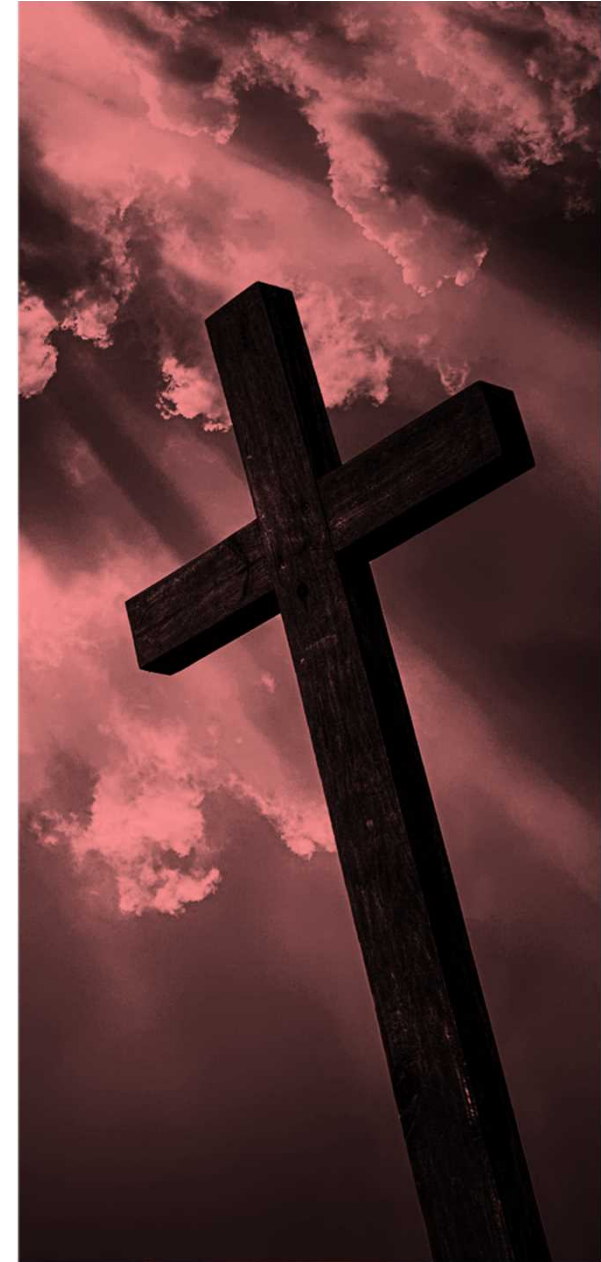
「わが神、わが神。

どうしてわたしをお見捨てになったのですか」

➡ 詩篇22:1の引用。メシアの受難の預言。

イエスは、愛する父を、この時だけ「神」と呼んだ。

■ 神の怒りの杯を飲み干し、神の呪いを受けて、
父なる神から断絶された、イエスの姿があった。



【十字架上の最後の叫び】 ヨハネ福音書 19:30

イエスは酸いぶどう酒を受けると、「**完了した**」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった。

■「**完了した**」 = テテレスタイ
...**負債の支払いの完了**を示す言葉。

■人類の罪は、主イエスの血によって贖われた。



イエスの埋葬 マルコ15:43他

- 身を明かした二人の弟子によって、イエスの遺体は墓に葬られた。
- イエスの葬りは、人となられた神の子メシアが受けた、辱めの極みだった。
- イエスの埋葬も、聖書の預言通りに成就した。「彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが。イザヤ書 53:9」



【墓の見張り】 マタイ27:62～66

- 墓は、ユダヤ議会の依頼を受けたローマ軍により、厳重に監視された。
- 安息日が開けた三日目の朝。地震が起こり、天使が現れて、墓の石を転がして開けた。
- 兵士たちが逃げ出した後、女たちが訪れた。遺体を手厚く葬り直そうと考えたのだった。
- しかし、墓は空だった。女たちの報告を聞き、ペテロはヨハネとやってきて、「見て、信じた」。



...その後、復活のメシアは、次々と、弟子たちの前に現れた

女たちに



エマオ途上で



11人の使徒たちに



【使徒たちへの伝言】 マルコ16:7他

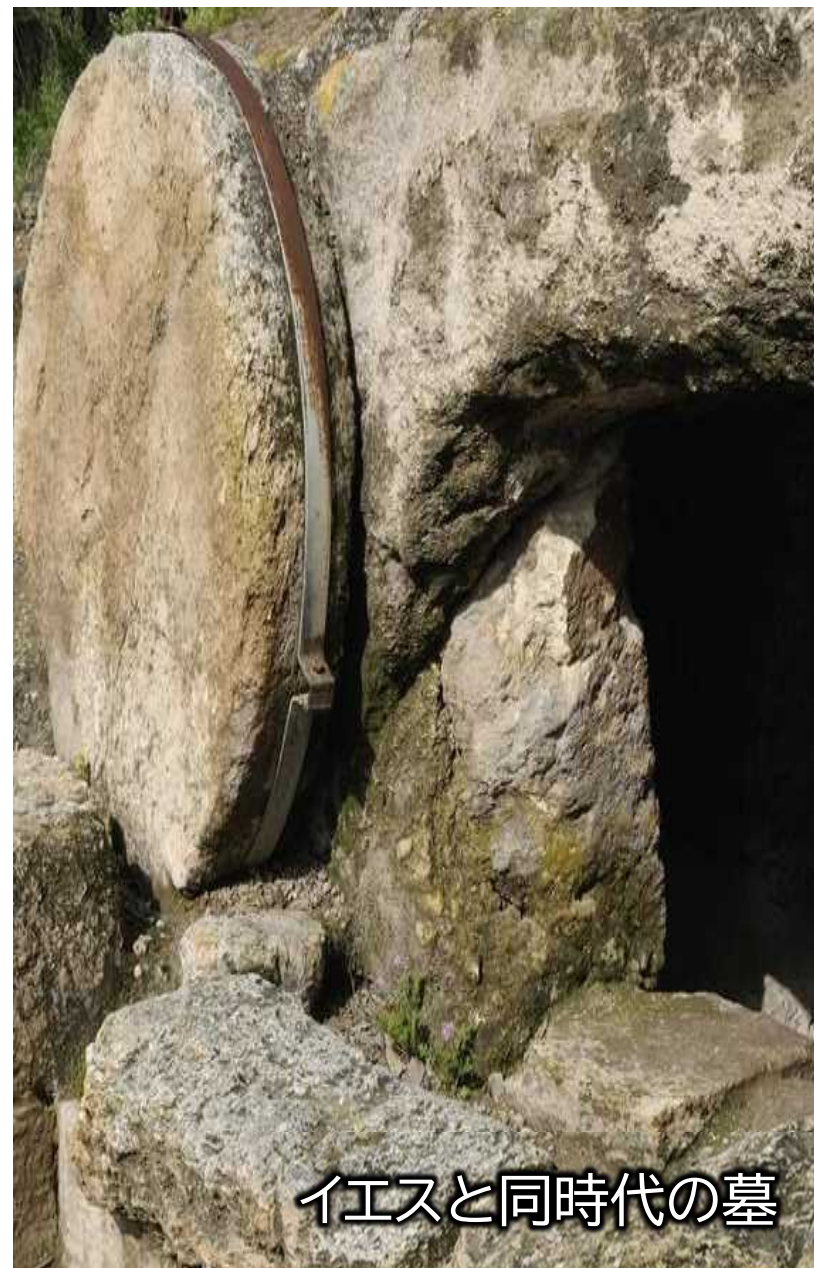
■ 御使いが女たちに託した使徒たちへの伝言

「ですから行って、お弟子たちとペテロに、『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます』とそう言いなさい。」

■ 最後の晩餐でイエスも予告されていた。

「しかしわたしは、よみがえった後、あなたがたより先にガリラヤへ行きます。マタ 26:32 」

■ ガリラヤは、使徒たちが全的献身をした場所。
イエスの宣教の拠点だった地。



イエスと同時代の墓



Ⅲ. ガリラヤ湖での和解の食卓 ヨハネ21:1～19

【漁にでた弟子たち】 ヨハネ21:1~3

その後、イエスはティベリア湖畔で、再び弟子たちにご自分を現された。現された次第はこうであった。

シモン・ペテロ、デドモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼバダイの子たち、そして、ほかに二人の弟子が同じところにいた。

シモン・ペテロが彼らに「**私は漁に行く**」と言った。すると、彼らは「**私たちも一緒に行く**」と言った。彼らは出て行って、小舟に乗り込んだが、その夜は何も捕れなかった。

■ イエスを待ちあぐね、元の漁師に戻った弟子たち。



【船の右側】 ヨハネ21:4~6

夜が明け始めていたころ、イエスは岸辺に立たれた。けれども弟子たちには、イエスであることが分からなかった。

イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ、食べる魚がありませんね。」彼らは答えた。「ありません。」

イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすれば捕れます。」そこで、彼らは網を打った。すると、おびただしい数の魚のために、もはや彼らには網を引き上げることができなかった。

■セオリー無視の方法で、ありえない漁獲が！



【飛び込んだペテロ】ヨハネ21:7～9

それで、イエスが愛されたあの弟子が、ペテロに「主だ」と言った。シモン・ペテロは「主だ」と聞くと、裸に近かったので上着をまとい、湖に飛び込んだ。

一方、ほかの弟子たちは、魚の入った網を引いて小舟で戻って行った。陸地から遠くなく、二百ペキス(約100m)ほどの距離だったからである。

こうして彼らが陸地に上がると、そこには炭火がおこされていて、その上には魚があり、またパンがあるのが見えた。

■すべてを用意して待っておられた主。

私たちに求められるのは、招きへの応答。



【イエスの問い①】 ヨハネ21:15

彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たちが愛する以上に、わたしを愛していますか。」ペテロは答えた。「はい、主よ。私があなただを愛していることは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの子羊を飼いなさい。」

■「私だけは」、とあの時答えたペテロ。

自らを誇ることはないが、断言もできない。



【イエスの問い②】 ヨハネ21:16

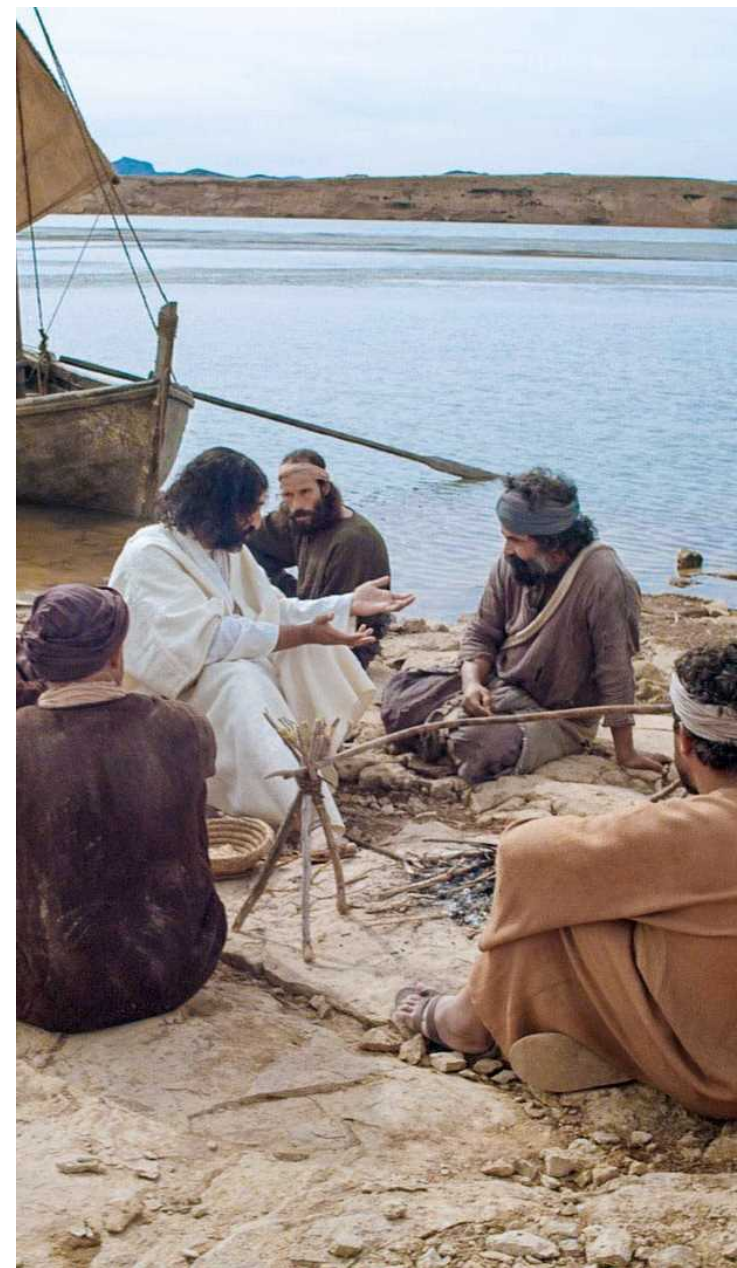
イエスは再び彼に「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛していますか」と言われた。

ペテロは答えた。「はい、主よ。私があなただを愛していることは、あなたがご存じです。」

イエスは 彼に言われた。

「わたしの羊を牧しなさい。」

- 直球の質問にも、直接答えられないペテロ。
- 構わず、指導者の使命を負わせるイエス。
一方的なやりとりが、三度繰り返される。



【イエスの問い③】 ヨハネ21:17

イエスは三度目もペテロに、「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛していますか」と言われた。ペテロは、イエスが三度目も「あなたはわたしを愛していますか」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ、あなたはすべてをご存じです。あなたは、私があなたを愛していることを知っておられます。」 イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

- 三度尋ねられても、愛していると断言できない。自分の罪を思い知らされたペテロの姿がある。

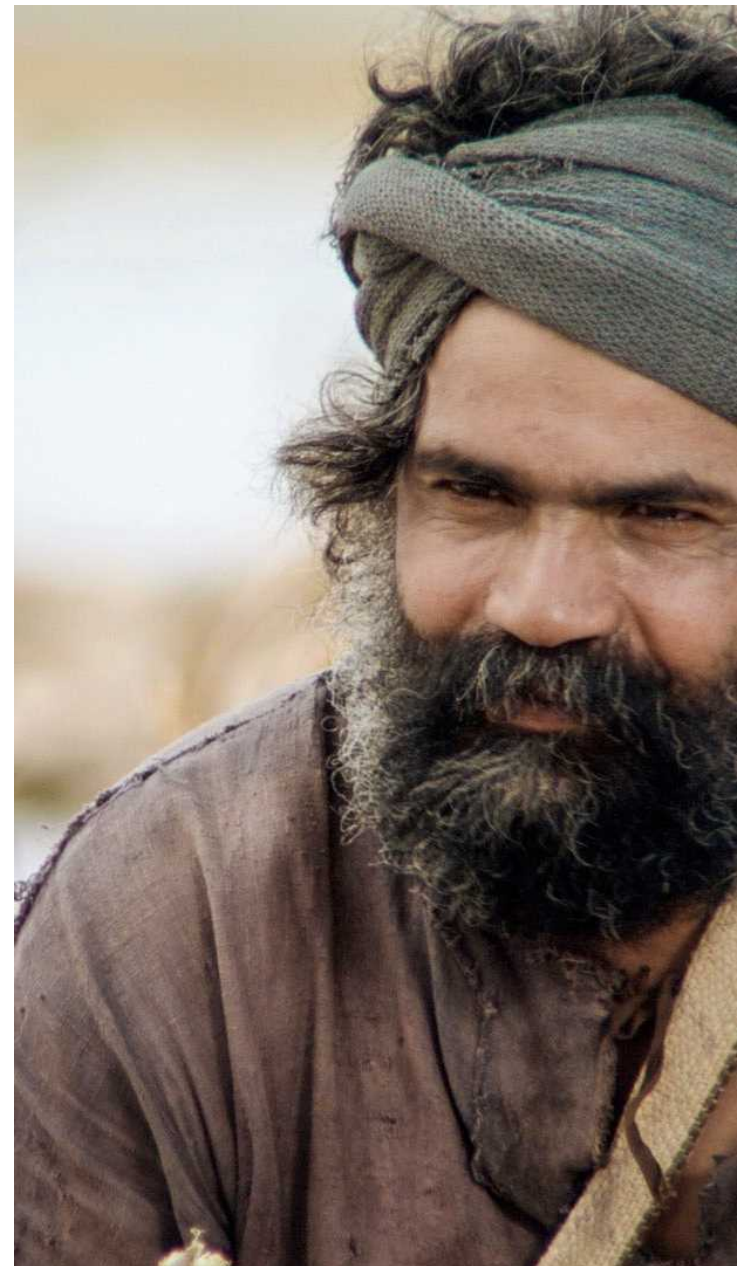


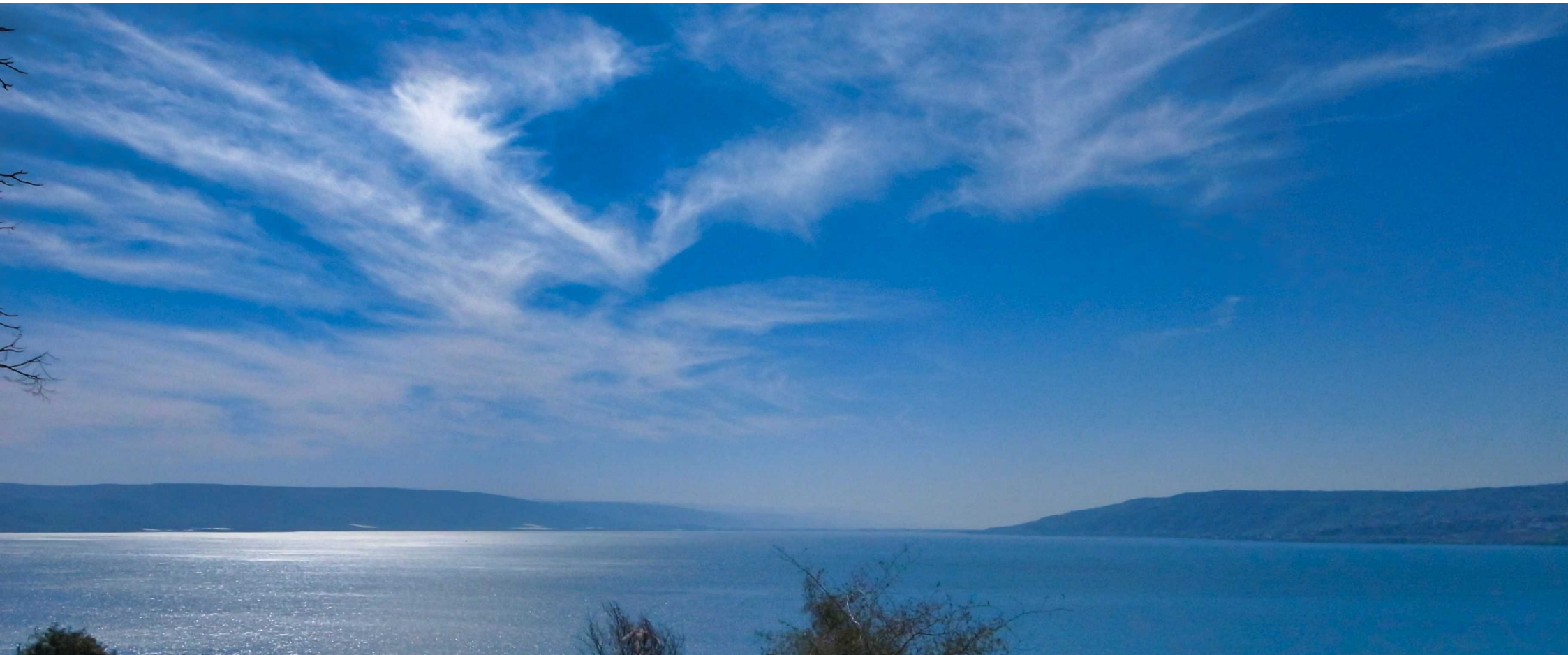
【三つの問いの最後の命令】ヨハネ21:18～19

まことに、まことに、あなたに言います。あなたは若いときには、自分で帯をして、自分の望むところを歩きました。しかし年をとると、あなたは両手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をして、望まないところに連れて行きます。」

イエスは、ペテロがどのような死に方で神の栄光を現すかを示すために、こう言われたのである。こう話してから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」

- ペテロは殉教の死を遂げたと伝承される。
- 打ち砕かれたペテロへの最後の命令。





Ⅲ. まとめと適用

主を選び、選びつつ歩もう
主に選ばれた者の特権として

ガリラヤ湖

【ペテロの置かれた事実の確認】

■ ペテロが知らされていたこと。

イエスの死とよみがえり。
ガリラヤ湖での再会。
ペテロのイエスの否認。

全部、聞いていた

■ ペテロが実際に行ったこと

三度イエスを否認した。
十字架と復活を理解できなかった。
主を待ちきれず、漁師に戻ろうとした。

何一つできなかった

分かっているのにできないのが、人間の罪の避けがたい本質

【アガペーか、フィレオーか？】

- イエスとペテロの問いは、ヘブル語でなされたはず。
アガペーかフィレオーか、ギリシャ語で考えても意味はない。
➔ 人間中心の文化から生まれたギリシャ語を深掘りしても…。
- イエスとペテロのやりとりは**対句法**。典型的なヘブル的文学手法。
 - ① **アガペー(A)** ➔ **フィレオー(B)**
 - ② **アガペー(A)** ➔ **フィレオー(B)**
 - ③ **フィレオー(B)** ➔ **フィレオー(B)**

対句法の理解で重要なのは、個別の意味ではなく、**全体の意味**。

➔ 様々な方向から光を当て、一つの真理を浮き上がらせる。



モネが、何十枚もの「睡蓮」で描いたのは、自宅の庭の一つの池。
聖書が66巻を通して多彩に記すのは、**唯一の神の一つの真理**。

【繰り返された問いが示す一つの真理】

■ 聖書が繰り返す教え、人が繰り返す過ちに示された一つの真理。

「人は誰も、自分で自分を救うことはできない。
救いはただ、主にのみある。」

■ ペテロが繰り返した、どうしても過ちが浮き上がらせるのは、十字架で死に、復活された主イエスだけが、救いだということ。

■ 失敗を繰り返す末に、決定的な罪を犯した**ペテロは完全に詰み**。
主イエスの前に八方塞がり、退路もなく、打ち砕かれきった。

【一つしかない信仰者の道】

■「わたしを愛するか」という三度のやりとりで完全に追い込まれたペテロに、主イエスは、最後の命令をくだされた。

「わたしに従いなさい」

■主イエスはペテロを選び、ペテロはすべてを捨てて従った。
主の選びに、ペテロは応答し、弟子としての歩みが始まった。
与えられた救いは失われることはなく、信仰者に退路はない。

■ペテロは、この期に及んでも、主に従い通すほか、道はなかった。
愛すると断言できなくとも、自分が何であろうとなかろうとも。

【聖書が教える愛とは？】

■ 聖書の記す愛は、感情や雰囲気でも、何かの親切や善行でもない。行いは、信仰に基づく愛の結果であって、それが愛ではない。

■ 聖書の愛は**選択**。意思と決意をもって選ぶこと。

信じるとは、主イエスの十字架と復活の救いの道を選ぶこと。

自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、それを保って永遠のいのちに至ります。ヨハネ 12:25

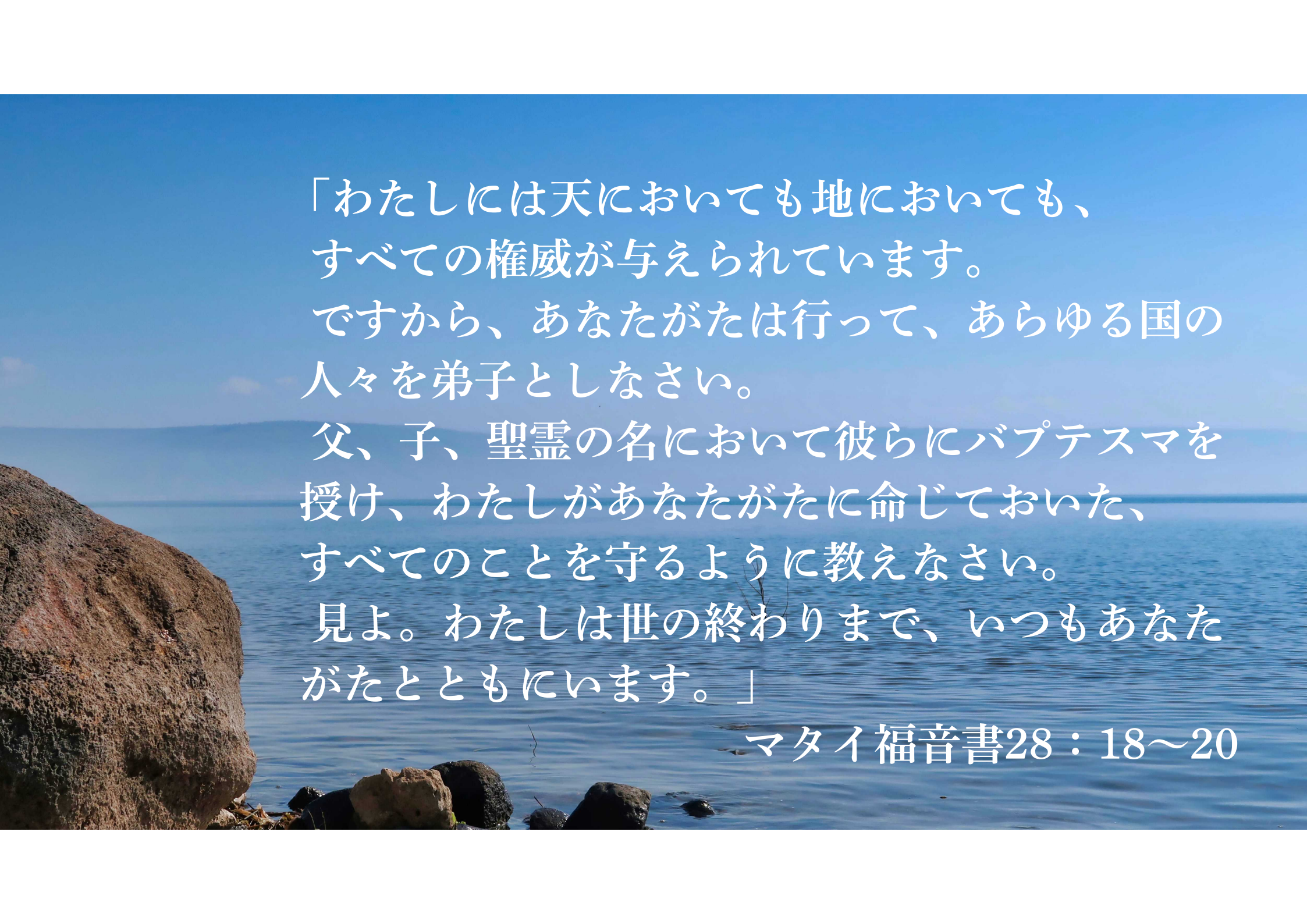
➔ 主を愛し、人の罪を憎むか。人の罪を愛し、主を憎むか。

【主を選び、選び続けていくために覚えるべきこと】

- すべての人に突きつけられた選択は、主を選ぶかどうか。
主を愛し福音を信じるか。主を憎み救いを拒むか。どちらか一つ。
- 主を選び、福音を信じたあなたは、確かに主に選ばれていた。
選ばれたあなたは、主を選び続けていくことが求められる。
- 信仰が深まるほどに、己の罪の認識も深めさせられていくだろう。
ペテロの陥った絶望は、すべての信仰者が通らされる道だ。
- 打ち砕かれて思い知るのは、なお主に従う他、道はないこと。

【主を選び、選び続けていくために覚えるべきこと】

- 愛するかと主に問われ、言葉につまるあなたを主は喜ばれる。打ち砕かれたあなたは、次の使命に応える用意ができたのだ。
- 心貧しい者は幸いだ。ペテロが味わい知らされたように、身をもって自分の罪を噛みしめる者は、主の愛をも思い知る。
- どこまでも追いかけてくる主の愛の前に、私はすでに詰まされた。従いなさいという主の命令に、応えて今、次の一步を歩み出そう。



「わたしには天においても地においても、
すべての権威が与えられています。
ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の
人々を弟子としなさい。
父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを
授け、わたしがあなたがたに命じておいた、
すべてのことを守るように教えなさい。
見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなた
がたとともにいます。」

マタイ福音書28：18～20

「天のお父さま。わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

追(おい)迫(せま)る主の愛(あい)から、逃(のが)れられる者などいません。

ペテロのように、打(う)ち砕(くだ)かれる わたしがいます。

御霊(みたま)によって、ただ主に従(したが)う者と 変(か)えてください。

福音(ふくいん)を告(つ)げる 主の弟子(でし)として、

ここから遣(つか)わしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」